# piapro studio Standalone

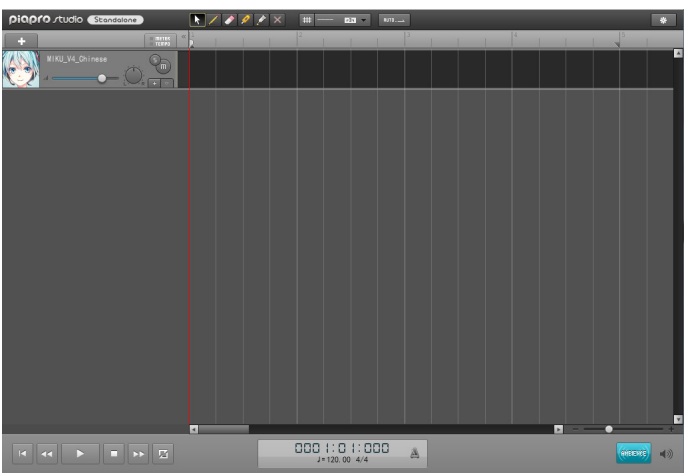
クイックスタート・ガイド

# Piapro Studio の立ち上げ

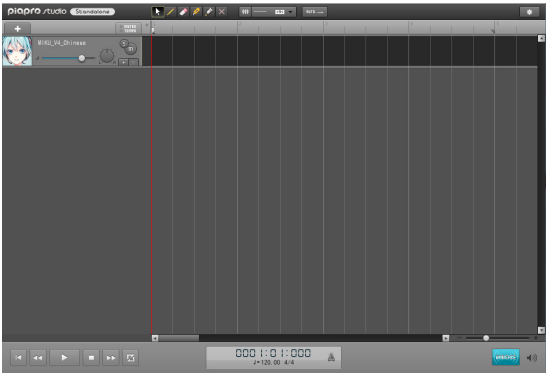
音声ライブラリ（初音ミク）を歌わせるために、まずはじめに "Piapro Studio Standalone" を立ち上げます。

Windows をお使いに場合は、デスクトップに作られたショートカット・アイコンから立ち上げることができます。Mac をお使いの場合は、Finder のアプリケーション・フォルダーから立ち上げることができます。

立ち上がると以下の画面が表示されます。



# Piapro Studio ウィンドウ



上図は音声ライブラリを歌わせるためのウィンドウです。

## メニュー

Windows:

Mac:

Piapro Studio に用意されている様々な機能を選択、使用できます。各項目の詳細は、Piapro Studio のマニュアル（ヘルプメニュー＞マニュアル）の「メニュー」の章でご紹介します。

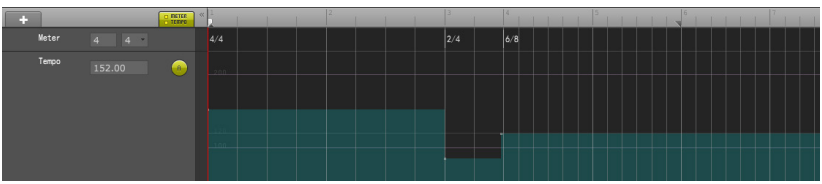
## ツールバー

制作に必要なツール（道具）や機能を選択するためのバーです。各項目の詳細は、Piapro Studio のマニュアルの「ツールバー」の章でご紹介します。

## メジャーバー

小節番号を確認したり、ループ範囲やペースト（貼り付け）先を指定するためのバーです。この小節番号はホストアプリケーション側の小節番号と連動しています。詳細は Piapro Studio のマニュアルの「メジャーバー」の章でご紹介します。

## 拍子トラックとテンポトラック




Piapro Studio に読み込んだファイル（Piapro Studio ソングファイル、VSQ、VSQX、MIDI）に保存されている拍子（Meter）とテンポ（Tempo）が表示されます。詳細は Piapro Studio のマニュアルの「拍子トラックとテンポトラック」の章でご紹介します。

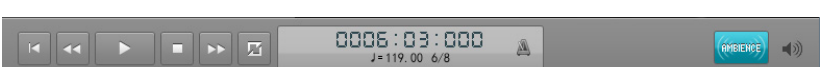
## トラック

歌声 DB に歌わせるための音符と歌詞、そして歌声の表情を書くためのエリアです。詳細は Piapro Studio のマニュアルの「トラック」の章でご紹介します。

## スクロールバー

Piapro Studio の表示内容を移動するためのバーです。右端に用意されている小さな水平バーでは、表示内容をズームイン／ズームアウトできます。

## トランスポートバー



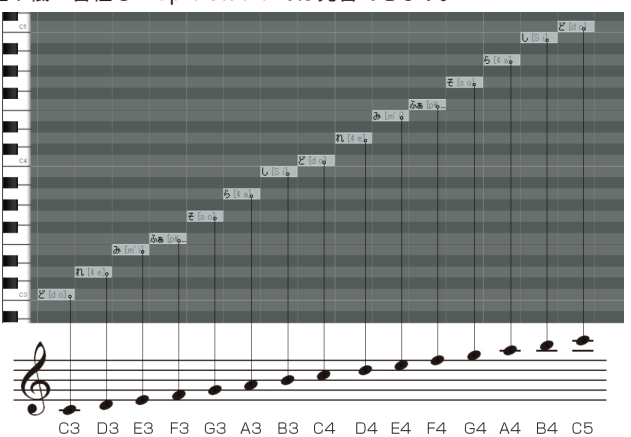

Piapro Studio の再生をコントロールするためのバーです。詳細は「トランスポートバー」の章でご紹介します。

# Piapro Studio と楽譜の関係

Piapro Studio のピアノロールでは、縦のマス目が音程（音の高さ）を表しており、上の方が高い音、下の方が低い音になっています。横のマス目は時間（音の長さ）を表しており、左から右へ順番に再生されていきます。そして、この縦横のマス目に入った横棒が音符の代わりです。

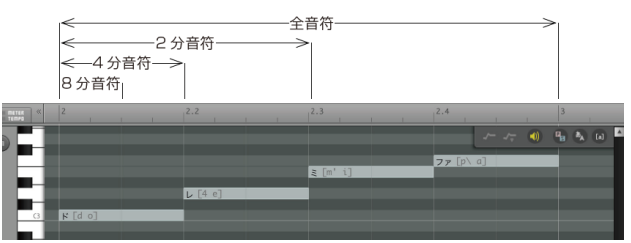
## 音程

下図は楽譜と Piapro Studio の音程を説明するための例です。この図に表示されていない高い音程や低い音程も Piapro Studio では発音できます。




## 音の長さ

4/4 拍子の場合は、1 小節の中に 4 分音符が 4 つ入ります。



# Piapro Studio を使った歌作り

## Playback

Piapro Studio の画面下部のある「トランスポートバー」では、制作した内容を再生できます。メロディや歌詞の入力が終わったら、実際にどう歌われるかを音で確認してみましょう。

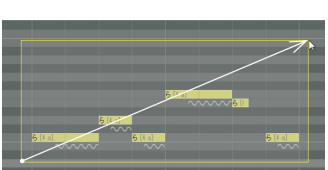
| | |
|---|---|
| 1. 曲の最初に戻る | 6. ループ再生 On/O |
| 2. 1 小節戻る | 7. メトロノーム ON/OFF |
| 3. 再生、一時停止 | 8. AMBIENCE（アンビエンス） |
| 4. 停止 | 9. マスター・ボリューム |
| 5. 1 小節進む | |

## 1. 音符の入力

音符は、トラックをダブルクリックすると表示されるピアノロールの中で入力します。ツールバーで「鉛筆ツール」を選択し、ピアノロールの中で右にクリック＆ドラッグしてみて下さい。音符が横に伸びますので、適当な長さまで伸ばしたらマウスのボタンを離しましょう。これで音符の入力は完了です。

### 音符の選択

「選択ツール」または「鉛筆ツール」で音符をクリックすると、その音符は選択された状態になります（イエローでハイライトされます）。Ctrl キー（Win）/ Command キー（Mac）を押しながら音符を 1 つずつクリックすると、クリックした全ての音符が選択された状態になります。複数の音符をまとめて移動したり削除したい場合はとても便利です。



「選択ツール」で左図のようにドラッグすると、その範囲内にある全ての音符が選択された状態になります。

### 音符の長さ変更

入力した音符が短すぎたり、もしくは長すぎてしまった場合は、音符の末端をドラッグすることで長さを変更できます。

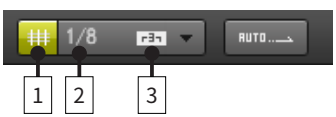
### 音符の移動とコピー

音符を移動したい場合は、移動したい音符を選択してから上下左右好きな方向にドラッグします。Ctrl キー（Win）/ Option キー（Mac）を押しながらドラッグするとコピーされます。

### 音符の削除

音符を選択してから Delete キーまた Backspace キーを押します。

### 3 連符の入力について

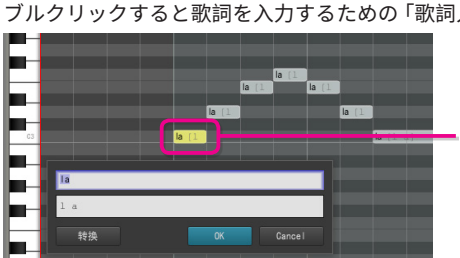



曲によっては 3 連符が必要な場合もあるでしょう。そのような場合は左図の「スナップオン／オフ」ボタンと「3 連符オン／オフ」の両方をオン（イエローでハイライト）にし、「スナップ値」メニューで音符の長さを選択します。

| 1. スナップ On/Off | 2. スナップ Value | 3. 3 連符 On/Off |
|---|---|---|

## 2. 歌詞の入力

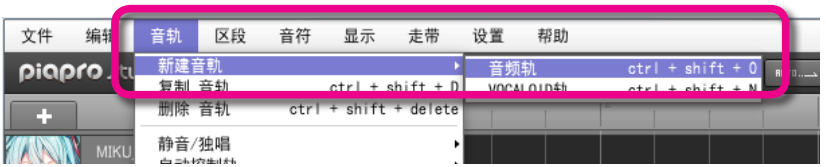
音符の入力が完了したら次は歌詞を入力してみましょう。メロディーの先頭の音符をダブルクリックすると歌詞を入力するための「歌詞入力パレット」が表示されます（下図）。



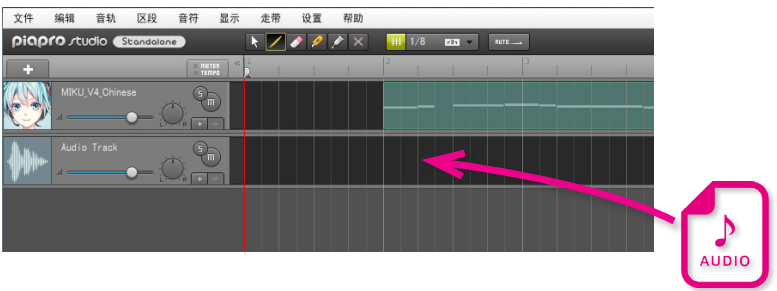

先頭の音符をダブルクリック

# オーディオ・ファイルのインポート

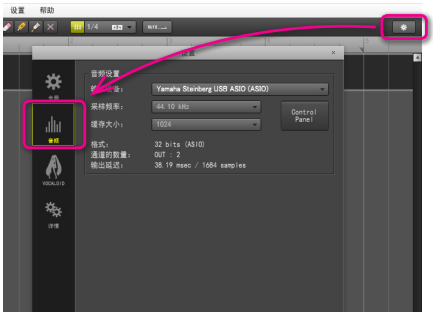
Piapro Studio Standalone にはオーディオトラックが用意されています。オーディオトラックでは、カラオケやループ素材などといったオーディオファイル（WAV、AIFF ファイル）を並べることができます。




オーディオトラックは、トラックメニュー＞新規トラック＞オーディオトラックで作成することができます（上図）。オーディオファイルは、ドラッグ＆ドロップ操作によって並べることができます。また、1 つのオーディオトラックに、モノラルとステレオ両方のオーディオファイルを並べることができます。なお、録音（レコーディング）や、Piapro Studio のテンポにオーディオファイルの長さを合わせることはできません。



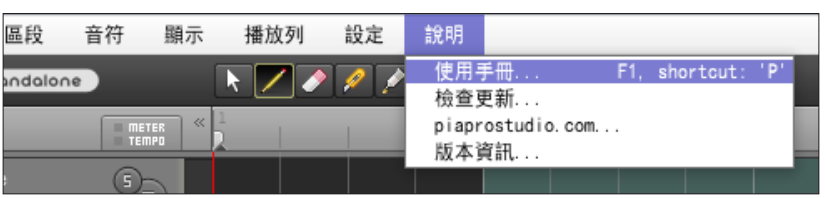
# Piapro Studio から音が鳴らない場合




Piapro Studio の環境設定にある「オーディオの設定」を開き、出力デバイスを変えてみてください。

# Piapro Studio オペレーション・マニュアル

Piapro Studio の詳しい使用方法については、「ヘルプ」メニューにある「マニュアル」をご参照ください。



piapro studio
Standalone